

2020年度

予算要望書

令和元年12月12日

苫小牧市長 岩倉 博文 殿

公明党議員団 池田 謙次
神山哲太郎
大西 厚子
藤田 広美
大野 正和

健やかに暮らすまち健康都市を目指して（10項目）

- 一、健康経営都市を目指して官民一体となった健康戦略を策定し実施すること
- 一、胃がんのリスク検診や男性特有のがん検診を実施すること
- 一、ピロリ菌検査の大人への受診拡大のため助成を実施すること
- 一、がん検診の受診率拡大に向けてワンコイン受診を導入すること
- 一、乳がん検診におけるエコー検査の公費助成を図ること
- 一、コンビニ健診（特定健診）の推進を図ること
- 一、子宮頸がん検診に併用してHPV検査の公費助成を図ること
- 一、がん教育の全校実施とともに医師やがん経験者によるがん教育を推進すること
- 一、国の政策である産後うつ対策事業を早期に実施すること
- 一、医療用装具の受領代理制度を導入すること

地域で生き生きと暮らす幸齢社会実現のため（8項目）

- 一、介護に関する総合相談や介護予防推進のため介護予防センターを設置すること
- 一、認知症の早期発見・治療に、かかりつけ医による認知症相談医を育成して物忘れ外来を実施・拡大すること
- 一、認知症の簡易チェックができる医療機関を拡大すること
- 一、在宅介護者への支援に相談体制の強化など実質的な負担軽減を図ること
- 一、在宅医療を必要としている方へ安心の医療提供ができる体制整備をすること
- 一、市立病院に精神科を開設して認知症専門医を配置した物忘れ外来や各種依存症治療の実施を目指すこと
- 一、介護人材の確保に向けて支援策の拡大や専門学校の誘致を推進すること
- 一、高齢者でも安心して移動ができる道路整備を推進すること

安心して子どもを産み育てられるまちを目指して（9項目）

- 一、多胎児妊婦への健診券の追加措置を図ること
- 一、発達障がいの早期発見・早期療育に5歳児健診を実施すること
- 一、医療的ケア児のショートステイや一時保育など設置とともに保護者への相談・支援を強化すること
- 一、ステップ講座のトレーナーを増員し受講機会の拡大を図ること
- 一、子ども・若者育成推進法に基づく計画を策定し、具体的に推進すること
- 一、室内遊戯スペースの設置は民間企業の誘致の他、身近な公共施設等も対象に設置拡大を図ること
- 一、医療費助成制度の助成対象の拡大は小中学生の入院から通院までの拡大を検討すること
- 一、児童相談所分室設置に伴い、ファミリーホーム及び特別養子縁組が推進されるよう連携を強化すること
- 一、若者等の移住・定住を促進する結婚新生活支援事業を実施すること

みんなで支え合うふくしのまちを目指して（7項目）

- 一、自殺予防対策としてゲートキーパーをあらゆる世代で育成を図るとともに、相談体制を強化すること
- 一、車椅子で安心してまち歩きができる地域を拡大し設定すること
- 一、生活保護の自立支援プログラムの拡大及び個別の金銭管理プログラムを実施すること
- 一、障害者優先調達推進法に則り協力企業の拡大とともに物品数や金額の目標を設定し拡大を図ること
- 一、農園運営のコンサルティング会社を誘致し、他法人に所属する障がい者を受け入れる事業を実施すること
- 一、ピアサポーター養成は地域生活支援のため拡大を図れるよう支援すること

未来への活力あるまちの構築を目指して（9項目）

- 一、保育士や介護人材の確保に向けた更なる対策の強化を図ること
- 一、雇用のミスマッチ解消やUIターン事業の推進とともに相談窓口を開設すること
- 一、移住・定住促進事業は効果のある施策を講じること
- 一、食の物流拠点として食品製造加工会社等や物流企業の誘致を積極的に推進すること
- 一、自然エネルギーなど新エネルギー産業の誘致を積極的に推進すること
- 一、テレワークなど活用した在宅勤務ができる雇用を推進すること
- 一、企業等に対し、障がい者雇用や育児休暇の取得など、時代の要請に応えるべく指導すること
- 一、SDGs（持続可能な開発目標）の具体的な取り組みを検討し積極的に推進すること
- 一、介護事業の共生型住宅、共同住宅の支援を検討すること
- 一、子ども・若者総合相談センターを設置すること

子どもの未来を育む文化と教育を推進するために（13項目）

- 一、教員の多忙化の解消に向けて専科教員の配置を図ること
- 一、学校における部活動など部活動指導員の配置を推進すること
- 一、学校図書館司書の中学校への配置と民間委託を推進すること
- 一、いじめ不登校対策にSNSを活用した相談事業を実施すること
- 一、不登校対策として専門相談員の増員や家庭学習指導員の導入を図ること
- 一、コミュニティスクールの実施校を拡大すること
- 一、小・中学生の実践的な体力向上を推進すること
- 一、改新築以外の校舎のエレベーター設置計画を策定すること
- 一、スポーツ合宿に対する助成金を拡大すること（特に閑散期）
- 一、静川遺跡は未来に伝えていく縄文遺跡公園として整備を推進
- 一、中央図書館を地域の拠点として利活用する視点から次期指定管理の更新に向け再整備を検討すること
- 一、市科学センターの改築は屋内で子どもの遊び・学び・体験もできる児童館などの複合施設として計画を策定すること
- 一、読書活動の推進と子育て支援にセカンドブック事業を実施すること

防災・減災対策と安全・安心のまちづくり（11項目）

- 一、各自主防災組織の防災力の強化に向けて実践的な訓練の実施など具体的な支援を行なうこと
- 一、漁港区近辺に津波災害を想定して海岸沿いの住民や港湾作業員や観光客の避難先に津波避難タワーの設置を検討すること
- 一、あらゆる災害に備えて水難救助隊の配置をすること
- 一、消防団確保策として、消防団協力事業所の拡大と共に、優遇策を講じること
- 一、緊急通報システムの電池交換は負担軽減を図ること
- 一、市民への情報伝達のため、コミュニティFMの導入を目指すこと
- 一、除雪は交差点や通学路など早期に排雪して安全を確保すること
- 一、街路樹や植樹帯は事故防止のため適時に剪定を実施すること
- 一、災害時における停電の対応策を検討し市民の安全に努めること
- 一、空き家対策における危険空き家等の事故防止のため取り組みを強化すること
- 一、市の幹線道路や公園内の防犯灯のLED化を図ること